

## 平成30年度一般会計補正予算(第3号)の概要

## 台風被害の復旧や耐震対策等に対応

補正額 1億7,471万円増  
補正後の予算額 473億1,380万円

## 歳出(主な項目)

## ■施設補修費

小学校施設管理費……………4,360万円→4,575万円(215万円増額)  
中学校施設管理費……………7,620万円→8,720万円(1,100万円増額)  
掛川城周辺施設管理費……………450万円→1,250万円(800万円増額)  
協働のまちづくり推進費……………200万円→213万円(13万円増額)  
スポーツ施設管理運営費……………1,000万円→1,700万円(700万円増額)

7月の台風12号により、市内の学校等の公共施設15か所で倒木や屋上防水シートが破損するといった被害が発生した。修繕するための施設修理費や補修工事費を増額。

## ■介護施設等建設事業助成費……………365万円追加

避難が困難な要介護者を宿泊させる上内田地区の施設にスプリンクラー及び自動火災通報装置を設置することに伴う補助金を追加。

## ■放課後児童健全育成事業費……………324万円追加

第二小学童保育所(旧つくし保育園)について、耐震補強工事に向けた実施設計を行う必要が生じたことにより委託料を追加。

## ■日本一茶産地推進事業費……………7,362万円→7,997万円(635万円増額)

J A静岡経済連から全国茶品評会への出品者数が示された結果、当初見込みよりも出品者数が増加したため、出品者への補助金を増額。また、子隣地区の茶生産者が、産地パワーアップ事業に新規採択され、国の補助を受ける見通しとなったため、事業費を増額。

## ■橋梁耐震補強事業費……………1億430万円→1億7,030万円(6,600万円増額)

国庫補助金の増額に伴い、城下橋、鹿島橋2橋の測量調査委託料を追加するとともに、城下橋、金城橋2橋の耐震補強工事費を追加。

## 要望書を提出



左から川勝知事、鈴木掛川市議会議員、高木袋井市議会議員、宮地病院院長兼企業長

掛川市議会と袋井市議会は7月25日、「中東遠保険医療圏における医療提供体制の確保について」の要望書を共同で国・県に提出しました。また、10月10日に改めて、川勝知事と面会し、意見を交わしました。中東遠における医師不足の解消と将来にわたり安心できる医療提供体制が確保されること。また、新専門医制度の適切な制度改正を日本専門機構に働きかけることで、地方における医師の適正配置が図られるよう全県での取り組みをお願いしました。